

慢性腎臓病とCKDシールについて

※この説明書は患者さんに渡して下さい。

■慢性腎臓病(CKD)について

- 現在日本では、成人の5人に1人が腎機能の低下している状態(慢性腎臓病:CKD)といわれています。
- 腎機能は、eGFRといわれる検査値で評価します。
- この値が60ml/min/1.73m²を一定の期間下回る、又はタンパク尿が一定量以上あると慢性腎臓病(CKD)になります。
- 最近は糖尿病や高血圧で腎機能が低下する方が多く、加齢によっても腎機能は低下します。

■CKDシールについて

- 腎機能が低下するとお薬の調節が必要になるものがあります。
- 腎機能がわかるシール(CKDシール)をお薬手帳に貼ることで、医師や薬剤師が腎機能を確認します。必要に応じて、お薬を調節することがあります。
- 病院などを受診したり、薬局やドラッグストアでお薬を受け取る際には、CKDシールを貼ったお薬手帳をお見せください。
- CKDシールは病院や薬局で貼ってもらうことができます。
- 手帳を更新したときは新しいシールを貼ってもらうてください。
- CKDシールを薬局で貼り替えた場合は、現在の腎機能を把握するために北見赤十字病院と薬局で情報共有することがあります。

受診したときに、血液検査の結果が書かれた用紙をもらったら、ぜひお薬をもらう薬局でも見せてください。より詳しくお薬の確認をしてもらえます。



《お問い合わせ先》

◆ 北見市役所 保健福祉部国保医療課特定健診係
Tel 0157(25)1130

◆ 北見赤十字病院 内科外来または薬剤部
Tel 0157(24)3115